



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッチツ

コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塩谷 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部総務部長

(氏名) 松井 慎一

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-5561-6200

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,041	11.5	192	29.2	338	46.1	231	107.8
26年3月期第2四半期	4,523	△5.0	148	△46.7	231	△29.0	111	△33.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 255百万円 (25.4%) 26年3月期第2四半期 203百万円 (91.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第2四半期	10.89		—	
26年3月期第2四半期	5.24		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
27年3月期第2四半期	16,420		11,077		67.5		521.10	
26年3月期	16,138		10,894		67.5		512.49	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 11,077百万円 26年3月期 10,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00	
27年3月期	—	2.50				
27年3月期(予想)			—	2.50	5.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,100	15.9	420	182.1	520	33.7	330	35.0	15.52	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	21,300,000 株	26年3月期	21,300,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	42,449 株	26年3月期	41,827 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	21,257,891 株	26年3月期2Q	21,259,737 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2~3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、機械関連については、船用機器の需要が、円高是正等を背景とする国内造船所における受注環境の改善により回復するとともに産業機器の需要も総じて堅調に推移いたしております。資源関連については、住宅関連資材向け需要は消費増税の影響等によりやや弱含む一方、半導体、情報通信関連分野の需要は、半導体関連が依然低調であるものの、電子材料関連は堅調に推移いたしております。

上述の如き環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は50億4千1百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は1億9千2百万円（同29.2%増）、経常利益は3億3千8百万円（同46.1%増）、四半期純利益は2億3千1百万円（同107.8%増）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

①機械関連事業

船用機器は、国内造船所におけるバルカーなど新造船の受注回復を背景に、売上、受注とも増加いたしました。産業機器の需要は総じて堅調に推移し売上は増加いたしました。受注は大型案件のあった前年同期との対比では減少いたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は34億1千4百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益は2億3百万円（同2.3%増）となりました。

②資源関連事業

結晶質石灰石の需要は、住宅関連資材向けは消費増税の影響等によりやや弱含む一方、埼玉県秩父地区における本年2月中旬の大雪による生産設備への被害等の影響が一部残り、売上は減少いたしました。半導体封止材などの原料であるハイシリカ（精製珪石粉等）の需要は、半導体関連が依然低調であるものの、電子材料関連の売上は販路の拡大等により増加いたしました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は12億1千万円（前年同期比5.9%増）、営業損失は3千9百万円（前年同期は営業損失9千6百万円）となりました。

③不動産関連事業

賃貸ビル市況の改善が進まぬ中、稼働率が低下したことに加え、建物のメンテナンス費用を計上したこと等から、売上高は4千8百万円（前年同期比26.4%減）、営業損失は1千5百万円（前年同期は営業利益2千5百万円）となりました。

④その他

耐熱塗料の売上は、設備用が増加したものの、OA機器向け輸出仕様品等工業用が減少し微減となりましたが、ライナテックス（高純度天然ゴム）関連の売上が、セメント関連の定期補修工事の積上げ等により増加し、この結果、「その他」合計では、売上高は3億6千8百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は4千4百万円（同98.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、164億2千万円となり、前連結会計年度末比2億8千1百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少、仕掛品の減少、流動資産のその他に含まれている未収入金が減少する一方、受取手形及び売掛金の増加があったこと等によるものであります。負債合計は53億4千2百万円となり、前連結会計年度末比9千8百万円増加いたしました。これは、有利子負債が減少する一方、支払手形及び買掛金の増加、流動負債のその他に含まれている未払金や未払費用の増加があったこと等によるものであります。純資産合計は110億7千7百万円となり、前連結会計年度末比1億8千2百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は67.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、26億9千1百万円となり、前連結会計年度末(30億4千7百万円)より3億5千6百万円(前連結会計年度末比11.7%減)減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2千4百万円(前年同四半期連結累計期間は営業活動の結果得られた資金3億3千1百万円)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が2億9千1百万円、減価償却費が2億1千4百万円、たな卸資産の減少が2億5千1百万円あったものの、売上債権の増加が9億4千7百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億1千万円(前年同四半期連結累計期間に比べ3億3千万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億2千1百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ1億円の減少)となりました。これは主に借入金の返済による支出があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、機械関連事業にかかる船用機器部門の需要は堅調に推移しているものの、資源関連事業にかかるハイシリカ部門の需要見通しが不透明であること等から、平成26年5月9日に公表いたしました内容を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が30,506千円増加し、利益剰余金が19,646千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,318,689	2,992,561
受取手形及び売掛金	2,144,447	3,001,933
電子記録債権	151,464	241,122
商品及び製品	371,741	280,815
仕掛品	859,725	746,284
原材料及び貯蔵品	495,227	448,391
その他	607,275	453,399
貸倒引当金	△1,058	△1,360
流動資産合計	7,947,513	8,163,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,455,408	2,373,062
機械装置及び運搬具（純額）	939,996	897,443
土地	2,410,734	2,409,605
その他（純額）	42,996	102,086
有形固定資産合計	5,849,136	5,782,198
無形固定資産	17,455	20,122
投資その他の資産		
投資有価証券	1,567,084	1,646,612
その他	762,797	812,559
貸倒引当金	△5,010	△4,574
投資その他の資産合計	2,324,871	2,454,597
固定資産合計	8,191,463	8,256,918
資産合計	16,138,976	16,420,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	776,547	874,318
短期借入金	1,897,744	1,850,308
未払法人税等	30,470	20,452
賞与引当金	96,592	92,017
役員賞与引当金	12,000	6,000
受注損失引当金	27,978	25,451
資産除去債務	777	199
その他	692,829	848,257
流動負債合計	3,534,938	3,717,004
固定負債		
長期借入金	217,830	98,474
役員退職慰労引当金	99,614	93,641
環境安全対策引当金	50,569	53,239
退職給付に係る負債	687,585	727,225
資産除去債務	54,948	55,145
その他	598,884	597,942
固定負債合計	1,709,431	1,625,668
負債合計	5,244,370	5,342,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	8,523,009	8,681,614
自己株式	△10,084	△10,205
株主資本合計	10,424,182	10,582,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	363,174	412,960
繰延ヘッジ損益	760	961
為替換算調整勘定	134,278	94,690
退職給付に係る調整累計額	△27,789	△13,883
その他の包括利益累計額合計	470,424	494,729
純資産合計	10,894,606	11,077,394
負債純資産合計	16,138,976	16,420,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,523,264	5,041,203
売上原価	3,784,561	4,216,489
売上総利益	738,703	824,714
販売費及び一般管理費	589,756	632,252
営業利益	148,946	192,461
営業外収益		
受取利息	1,099	1,023
受取配当金	17,662	21,342
持分法による投資利益	70,883	133,410
その他	32,484	39,140
営業外収益合計	122,129	194,917
営業外費用		
支払利息	11,143	8,687
休廃止鉱山管理費	17,846	29,105
その他	10,283	10,832
営業外費用合計	39,274	48,626
経常利益	231,802	338,753
特別利益		
固定資産売却益	236	648
特別利益合計	236	648
特別損失		
固定資産処分損	9,348	16,302
減損損失	57,372	1,011
環境安全対策引当金繰入額	33,280	2,670
関係会社出資金評価損	—	27,623
特別損失合計	100,000	47,607
税金等調整前四半期純利益	132,037	291,793
法人税、住民税及び事業税	23,142	56,434
法人税等調整額	△2,481	3,962
法人税等合計	20,660	60,397
少数株主損益調整前四半期純利益	111,377	231,396
四半期純利益	111,377	231,396

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	111,377	231,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,671	49,785
繰延ヘッジ損益	△180	201
為替換算調整勘定	51,093	△39,588
退職給付に係る調整額	—	13,905
その他の包括利益合計	92,584	24,304
四半期包括利益	203,962	255,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,962	255,701
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	132,037	291,793
減価償却費	238,632	214,040
減損損失	57,372	1,011
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,790	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,129	△5,973
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,954	△4,575
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	9,133
受取利息及び受取配当金	△18,761	△22,366
支払利息	11,143	8,687
持分法による投資損益(△は益)	△70,883	△133,410
有形固定資産売却損益(△は益)	△236	△648
有形固定資産処分損益(△は益)	9,348	16,302
売上債権の増減額(△は増加)	103,267	△947,144
たな卸資産の増減額(△は増加)	71,956	251,203
未収入金の増減額(△は増加)	97,825	145,405
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,234	55,143
未払金の増減額(△は減少)	△1,165	13,464
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,768	55,064
未払費用の増減額(△は減少)	△80,387	61,467
前受金の増減額(△は減少)	10,149	△3,002
その他	△65,904	29,957
小計	408,516	35,556
利息及び配当金の受取額	51,572	16,281
利息の支払額	△11,516	△9,103
法人税等の支払額	△117,412	△66,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,160	△24,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,006	△2,086
有形固定資産の取得による支出	△423,621	△81,615
有形固定資産の売却による収入	14,711	7,227
資産除去債務の履行による支出	—	△577
その他	△30,979	△33,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	△441,896	△110,996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△277,674	△166,792
自己株式の取得による支出	△90	△121
配当金の支払額	△42,520	△53,145
その他	△1,343	△1,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△321,628	△221,066
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	74
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△432,299	△356,127
現金及び現金同等物の期首残高	3,504,116	3,047,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,071,816	2,691,561

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,969,463	1,143,201	65,416	4,178,081	345,183	4,523,264	—	4,523,264
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	101	—	101	5,635	5,736	△5,736	—
計	2,969,463	1,143,302	65,416	4,178,182	350,818	4,529,000	△5,736	4,523,264
セグメント利益又は損 失(△)	198,978	△96,432	25,535	128,081	22,288	150,370	△1,423	148,946

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去360千円、全社費用△1,783千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,414,327	1,210,343	48,114	4,672,785	368,418	5,041,203	—	5,041,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	103	—	103	5,592	5,696	△5,696	—
計	3,414,327	1,210,446	48,114	4,672,889	374,010	5,046,900	△5,696	5,041,203
セグメント利益又は損 失(△)	203,590	△39,172	△15,330	149,087	44,174	193,261	△799	192,461

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去389千円、全社費用△1,189千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。